

beo を日本で唯一の窓口と認めている大学からメッセージ



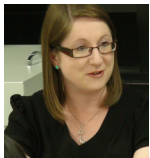
リーズ大学は日本においては 2007 年より beo に日本事務局を設置しており、そのおかげで、特に重要な協定機関や個人との信頼関係を築き、日本国内での活動の場を広げることができました。日本は当大学の国際化の取り組みにおける基礎であり、刺激的で創造力に富んだ今後の国際化の発展に私たちも期待しています。

(リーズ大学 副学長 Professor Michael Arthur)



beo のスタッフはフレンドリーでプロフェッショナルで、何より、当大学のことをとてもよく知っています。留学を実現するために、ぜひ利用してください。私たちは日本では beo のみを出願窓口として認めています。

(ブラッドフォード大学 インターナショナル・オフィサー)



beo が主催するイベントは、日本の優秀な学生に会えるため、なるべく機会を逃さないようにしています。当校に興味のある方は、こうしたイベントをはじめとして beo を利用して、ぜひ実現してほしいと思います。

(キングス・カレッジ・ロンドン インターナショナル・オフィサー)



beo を通して出会うことのできる、留学をめざす方のほとんどが、当校のことをよく研究してくれていて、また留学に対してとても真剣に考えているという印象を受けます。このような方との出会いをサポートしてくれている beo にはいつも感謝しています。

(バーミンガム大学 インターナショナル・オフィサー)



The University
of Manchester



マンチェスター大学は、GPA などの成績、英語力など入学条件として求めるレベルが高いのですが、beo では、より入学に「近い」方と多く会えます。また、beo がサポートしてくれるおかげで、出願手続きに不備が少なくスムーズです。

(マンチェスター大学 インターナショナルオフィサー)